

未来へアクセス



株主の皆様へ

第65期報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

東証1部コード:9902

中期経営計画『NEXT FIELD 2017』

お取引先様にとって、
「自社の業績向上になくてはならない企業」・
日伝を目指す。
そのために、提供価値を創造する。

戦略的パートナーとなるお取引先様に、
日伝の考えを正しく伝え、
協働して市場の開拓を進める。



Q 第65期の事業環境および業績はいかがでしたか？

A 当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費の停滞や輸出の伸び悩みに加え、年明け以降の円高・株安が企業マインドを押し下げるなど、一進一退で推移いたしました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界においては、輸出関連企業の設備投資に弱さがみられたものの、堅調な企業収益を背景に設備投資意欲は維持され、底堅く推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、平成27年度を初年度とし平成29年度までの3か年中期経営計画『NEXT FIELD 2017』を策定し、全社員が一丸となって、ユーザーを見据えたビジネス領域拡大のため、当社の「新たな商社機能」を強化し、提供価値の向上に取り組んでまいりました。また、コーポレートガバナンスを経営上の重要課題と位置づけ、意思決定の透明性・公正性を担保しつつ、迅速・果断な意思決定を行う仕組みを作り、中長期的な企業価値向上のための取り組みにも着手いたしました。

この結果、連結決算初年度となる当連結会計年度におきましては、売上高1,015億8百万円、営業利益50億6千6百万円、経常利益52億2千2百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、35億5千5百万円となりました。

Q 第65期に開催された展示会の状況を教えてください。

A 昨年に引き続き、当社子会社「岡崎機械株式会社」と協同で平成27年6月に東京ビッグサイトで開催された「国際食品工業展 (FOOMA JAPAN)」および「機械要素技術展」、平成27年10月インテックス大阪にて開催された「関西機械要素技術展」に出展いたしました。また、平成27年12月には東京ビッグサイトで開催された「国際ロボット展」に初出展いたしました。

1年目の進捗報告

さらにユーザーとの多様な接点の場として全国470か所において、お取引先様との協働による展示会の出展や、ユーザーの工場における出前展示会の開催などを実施し、商品・システム等の情報提供・改善提案を行うとともに、ユーザーと接点を持つことで情報収集等を行い『「商売の芽」となる情報獲得機会の拡大』に取り組みました。

第66期においても第65期と同様に展示会の開催を予定しております。

Q 「海外展開の加速」についての進展を教えてください。

A 当社子会社の「日伝国際貿易(上海)有限公司」が中国においてさらに事業拡大を図るため、中国国内に新たに4営業拠点を順次開設し、従来からの拠点と併せて9か所での営業活動を開始いたしました。また、これら営業拠点の拡充に伴う業容の拡大を見込み、資本金を250万US\$に増資いたしました。平成28年2月に当社子会社の「NICHIDEN VIET NAM

中期経営計画の骨子

- | | | | |
|-----------------|---|-----------------|--|
| <p>1</p> | <p>一体感のある企業グループの構築
ガバナンスの取れたグループ管理体制を構築し、シナジー効果を発揮する</p> | <p>5</p> | <p>海外展開の加速
海外の国柄・地域に応じた商売の発展形を作り上げ、同時多面的にビジネスを展開する</p> |
| <p>2</p> | <p>新たな商社機能の発揮と活用
横系(全国規模の組織力)と縦系(地域密着の細やかな対応力)の両方をしっかり紡ぐ</p> | <p>6</p> | <p>「流通のハブ」としての存在感向上
在庫機能と物流機能を活かし、その運用にて利益を生み出す</p> |
| <p>3</p> | <p>「商売の芽」となる情報獲得機会の増大
MEKASYS展示会、出前展、セミナーなどユーザーとの多様な接点を構築する</p> | <p>7</p> | <p>情報投資による業務効率の改善
一人ひとりが業務の中で効率を上げ時間を創出し、「商売を創る活動」をさらに強化する</p> |
| <p>4</p> | <p>新たな事業を創出する機動的な投資
強固な財務基盤をベースに新たな収益源を創出する</p> | <p>8</p> | <p>商売を創れる人財の育成
競争力の源泉である「人材づくり」において、圧倒的な優位性を持つことに挑戦する</p> |

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

CO.,LTD)が、ベトナム北部の主要都市であり日系企業が数多く進出されているハノイ市に支店を開設し、営業活動を開始いたしました。

「NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD)の知名度を高め、さらに業容拡大を図るため、現地の日系ユーザーや現地企業向けにホーチミンとハノイの2か所で展示会を開催いたしました。

Q 「新たな事業を創出する機動的な投資」として第65期はどのような投資をされましたか。

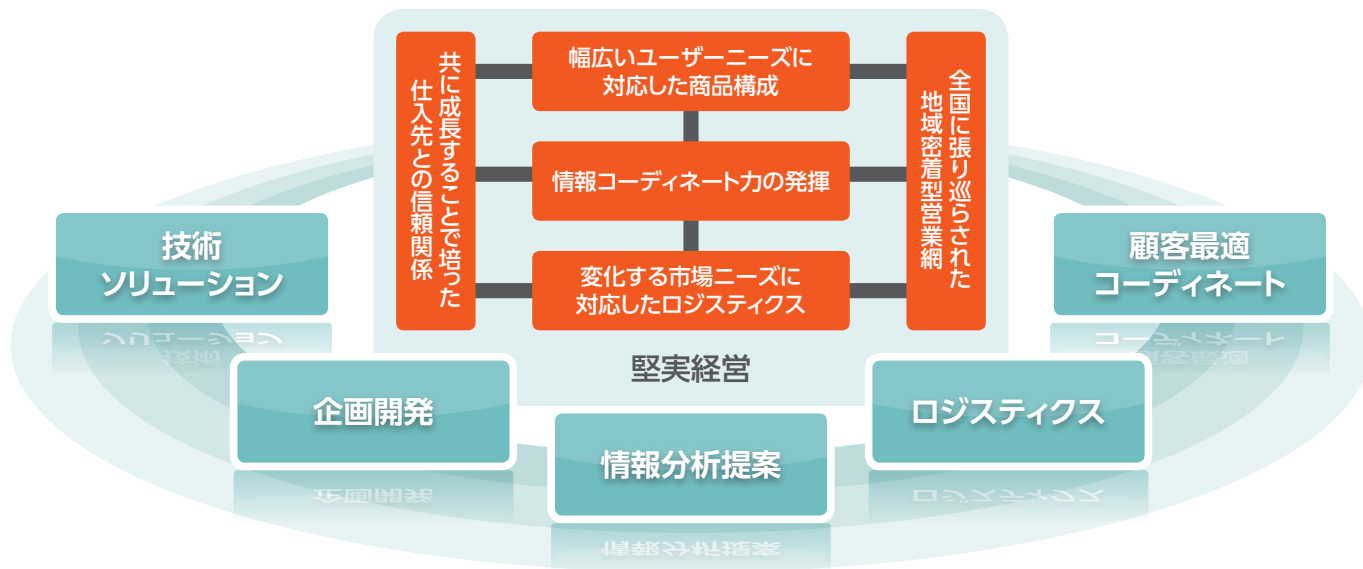
A 平成27年8月に戦略的在庫拠点および東部地区のデリバリー機能を強化するため、東部物流センターを埼玉県久喜市に新築移転いたしました。在庫額、在庫アイテム数は、以前の旧東部物流センターと比較してそれぞれ約1.6倍増加い

たしました。これにより、販売機会を逃さない営業体制の確立と「『流通のハブ』としての存在感向上」を目指します。

また、『新たな商社機能の発揮と活用』の一環で、平成27年9月に豊橋営業所を新築移転し、販売力の強化とサービスの向上に取り組んでまいりました。

平成27年11月にはテクノセンター(東大阪市)を新設し、これまでリニアウェイの切断加工やローラーチェーンの寸法切、油圧ホースのアッセンブリ等を行ってまいりました西部物流センター内の加工センターを移転し、さらに各種工作機械などの設備を充実させることにより追加加工機能の整備を行いました。その他にもエアパネルの製作やアルミフレームの組み立て、メンテナンスサービスを開始するなど「価値付加型ビジネス領域」の拡大を目指しております。

新たな商社機能の発揮と活用



Q 「新たな商社機能の発揮と活用」の具体的な取り組みを教えてください。

A 営業技術支援を行うFAシステム・環境推進部では、技術ソリューション、システム提案を推進し、営業技術要素を高めながらトータルソリューションを展開する「課題解決提案型ビジネス領域」の拡大を図ってまいりました。

具体的には、ユーザーからのシステム案件、ロボット案件の他に油圧機器の案件も増加してきているなど従来型の標準品販売だけでなく新たな成果が出てきております。

なお、ロボットを販売するにあたり、ロボット単体だけでなく周辺機器を含むカタログを昨年8月に発刊いたしました。非常に高い評価をいただいております。今年中には第2版を発刊する予定であります。

Q 「情報投資による業務効率の改善」に対する取り組みを教えてください。

A 営業現場では自動化への取り組みということで、業務効率の向上を目指しておりますが、第65期は特にEDI・プロキユバインターネット・データアップロードの活用を推進してまいりました。

また、新基幹システムの構築につきましては、お取引先様への新たな付加価値提供を行っていくための「時間」と「機能」を充実させることを目的として、業務の効率化による時間の創出と新たなビジネス領域への対応を目指して取り組んでおります。

Q 『商売を創れる人財の育成』の取り組み内容を教えてください。

A 現在中堅社員を中心に一般的なビジネス知識やマネジメント力に加えて次の3つのスキルを高めていく取り組みを行っております。

3つのスキルとは、「発想系」・「コミュニケーション系」・「技術系」の3つを設定しており、将来的には、メーカーの営業代行として技術営業ができる人財の育成を強化してまいります。

Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A 第66期は中期経営計画の2年目の目標として、連結売上高1,050億円、営業利益52億9千万円を設定し、引き続き中期経営計画の骨子に示してある経営方針を実現するために全社一丸となって課題に取り組む所存です。

なお、株主様への還元につきましては、配当方針を「連結配当性向25%以上、1株あたりの配当金25円を下限」と定め、企業価値と株主価値の持続的かつ一体的な向上を基本とした安定的な配当を行ってまいります。

当社を新たな成長のステージへ導く『NEXT FIELD 2017』の実現・推進は、引き続き株主の皆様のご理解とご支援なしに達成することはできません。従前以上のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

福家利一



CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円未満は切捨て)

科目	第65期	第64期
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	60,963	59,199
固定資産	18,914	19,009
資産合計	79,878	78,209
負債の部		
流動負債	13,140	13,233
固定負債	3,011	3,486
負債合計	16,151	16,720
純資産の部		
株主資本	61,809	58,938
その他の包括利益累計額	1,917	—
評価・換算差額等	—	2,550
純資産合計	63,726	61,489
負債純資産合計	79,878	78,209

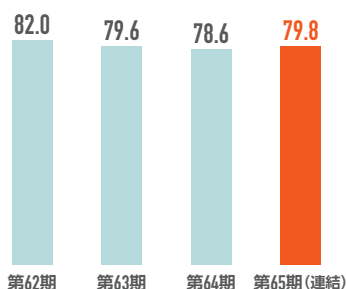
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円未満は切捨て)

科目	第65期	第64期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	101,508	94,342
売上原価	86,675	80,703
売上総利益	14,832	13,639
販売費及び一般管理費	9,766	8,570
営業利益	5,066	5,069
営業外収益	533	519
営業外費用	376	347
経常利益	5,222	5,241
特別利益 POINT 1	400	296
特別損失 POINT 2	217	216
税金等調整前当期純利益	5,406	—
税引前当期純利益	—	5,320
法人税、住民税及び事業税	1,654	1,853
法人税等調整額	196	169
当期純利益	3,555	3,298
親会社株主に帰属する当期純利益	3,555	—

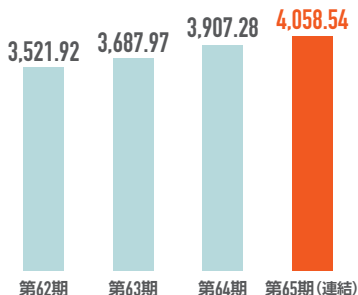
自己資本比率

(単位:%)



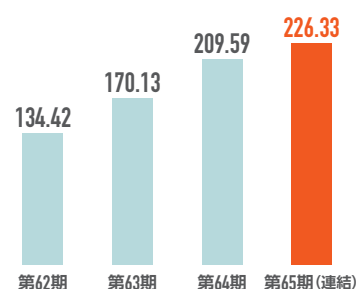
1株当たり純資産額

(単位:円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



※当社グループは当連結会計年度(第65期)より連結財務諸表を作成しております。
前事業年度まで(第62期・第63期・第64期事業年度)は単体の数値を記載しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円未満は切捨て)

科目	第65期	第64期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,263	2,339
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,803	△1,016
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,132	△832
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△19	0
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額(△)	△693	489
現金及び現金同等物の 期首残高	27,144	25,958
現金及び現金同等物の 期末残高	26,450	26,448

POINT 1 特別利益

特別利益として、平成27年7月1日付で確定給付企業年金制度から確定拠出年金制度へ移行したことに伴い退職給付制度改定益3億3千4百万円を計上しております。

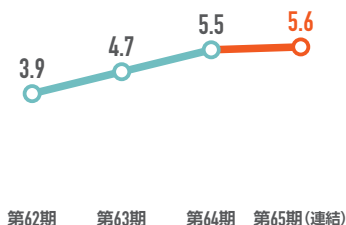
POINT 2 特別損失

特別損失として、さいたま市岩槻区に保有する建物及び土地について減損損失2億1千万円を計上しております。

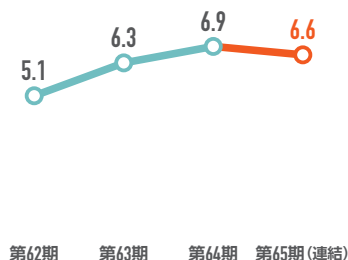
POINT 3 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、18億3百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が16億9千5百万円あったこと等によるものであります。

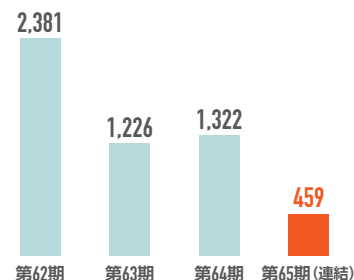
自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



総資産経常利益率(ROA) (単位:%)



フリーキャッシュ・フロー (単位:百万円)



SEGMENT INFORMATION

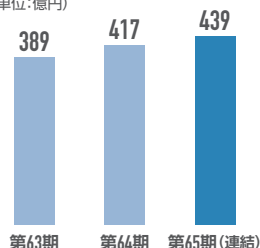
事業分野別状況

動力伝導機器分野

動力伝導機器分野では、減速機、ベルト伝導用品が堅調に推移した結果、売上高439億9千6百万円となりました。

商品別売上高の推移

(単位:億円)



主要な取扱商品

- ▶ 減速機 ▶ 変速機 ▶ 伝導用品
- ▶ 軸受 ▶ 工業用材料
- ▶ 減速機/変速機
- ▶ チェーン伝導用品/ベルト伝導用品/歯車伝導用品/カップリング/その他伝導関連商品
- ▶ ベアリング/直動機器/ベアリングユニット/その他軸受関連商品
- ▶ 金属材料/合成材料/セラミック/新素材

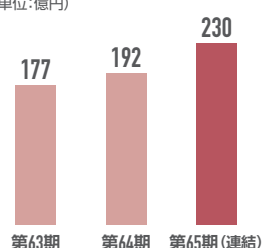


産業機器分野

産業機器分野では、コンベヤ関連機器、昇降揚重機、搬送システムが堅調に推移した結果、売上高230億6千万円となりました。

商品別売上高の推移

(単位:億円)



主要な取扱商品

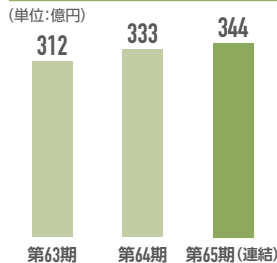
- ▶ 荷役運搬機器 ▶ モータ ▶ 環境機器
- ▶ FAシステム ▶ 包装・梱包システム
- ▶ コンベヤ/運搬機器/振動機/昇降揚重機/保管関連機器/搬送システム/構造用システム機器/包装・梱包システム機器/その他荷役・運搬・搬送関連商品
- ▶ モータ/環境機器/ファン/集塵・洗浄機器/ポンプ/その他機械器具・工具関連商品



制御機器分野

制御機器分野では、油空圧機器、アクチュエータ、ネットワーク機器が堅調に推移した結果、売上高344億5千2百万円となりました。

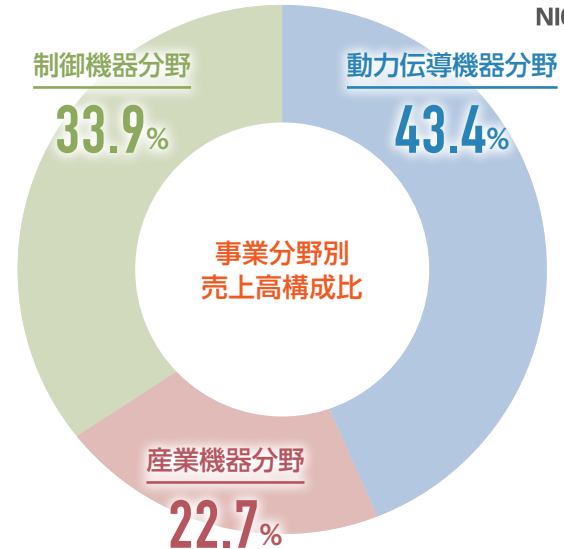
商品別売上高の推移



主要な取扱商品

● 油圧機器 ● 空圧機器 ● 電気 ● 電子

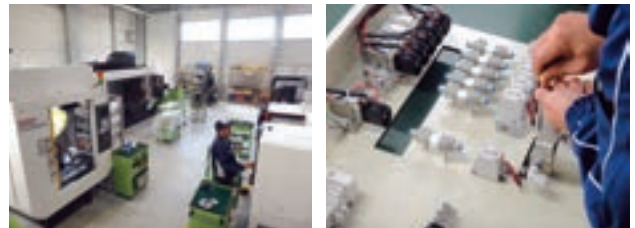
- ▶ 油圧機器／空圧機器／真空機器／ホース／チューブ／継手
- ▶ シーケンサ／表示器／アクチュエータ／センサ／スイッチ／エンコーダ／画像処理／測定機器／計測機器／盤用機器／ロボット／ナットランナ／メカトロパーツ／配管機材／通信・ネットワーク機器／無停電電源装置／その他制御機器関連商品



POINT 『NEXT FIELD 2017』

新たな商社機能の発揮と活用

平成27年11月から稼働開始したテクノセンターでは、「価値付加型ビジネス領域」への取り組みのために、従来のリニアウェイの切断加工やローラーチェーンの寸法切、油圧ホースのアッセンブリ等に加え、各種工作機械などの設備を充実させることにより追加加工の範囲を拡大いたしました。さらにエアパネルの製作やアルミフレームの組み立て、メンテナンスサービスなどを行い、多様なユーザーニーズに対応しております。



NICHIDEN NETWORK

NICHIDENネットワーク

国内外の拠点を繋いで、 ものづくり支援のネットワークを 構築しています

NICHIDEN TRADING(Thailand)Co.,Ltd.
NICHIDEN (Thailand) Co.,Ltd.

中国

連結子会社

日伝国際貿易(上海)有限公司
天津分公司
蘇州分公司
深圳分公司
平湖事務所
杭州事務所
大連事務所
常熟事務所
東莞事務所

タイ

ベトナム

NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD

株式会社日伝 インドネシア駐在員事務所

インドネシア



<http://www.nichiden.com/company/network/>

国内外の拠点情報は当社ホームページにてご覧頂けます。

POINT

『NEXT FIELD 2017』

海外展開の加速

子会社[NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD]において、経済発展のめざましいベトナムにおいて、ハノイ市周辺は、日系企業が数多く進出されており、地域の要望に即した営業展開にすることにより、業容拡大が見込めると判断したため、ハノイ市に支店を開設いたしました。



「商売の芽」となる情報獲得機会の増大

当社子会社の知名度を高め、さらに業容拡大を図るため、ベトナム現地の日系企業や現地企業向けに下記の2か所で展示会を開催いたしました。

平成27年10月8日(木)～10日(土)
METALEX VIETNAM 2015
(ホーチミン市)

平成28年4月6日(水)～8日(金)
VIETNAM MANUFACTURING
EXPO 2016(ハノイ市)



西部ブロック

大阪支店

八日市営業所	東大阪営業所	福山営業所
滋賀営業所	北大阪営業所	広島営業所
京都営業所	堺営業所	四国営業所
	神戸営業所	九州支店
	姫路営業所	北九州営業所
	岡山営業所	熊本営業所

東部ブロック

東京支店

札幌営業所	水戸営業所	千葉営業所
北上営業所	小山営業所	横浜営業所
仙台営業所	高崎営業所	南関東営業所
郡山営業所	埼玉営業所	西東京営業所
新潟営業所	上田営業所	

中部ブロック

名古屋支店

富山営業所	静岡営業所	岡崎営業所
北陸営業所	浜松営業所	小牧営業所
松本営業所	豊橋営業所	鈴鹿営業所

連結子会社

岡崎機械株式会社

物流センター

東部物流センター	西部物流センター
中部物流センター	

テクノセンター

平成27年

10月

1

11月

2

3

12月

平成28年

1月

4

5

2月

3月

1

11月12日

MEKASYS in OSAKA

「生産性の向上と人への負担軽減～人と働く自動化のヒントに～」をテーマに平成27年11月12日(木)に花博記念公園鶴見緑地 ハナミズキホール(大阪市鶴見区)においてメカニカルパーツ&システム総合展を開催いたしました。

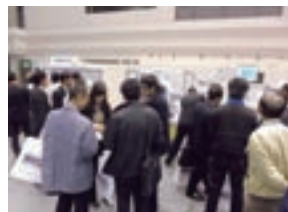


3

12月9日

MEKASYS in NAGOYA

「現場の自動化に最適なソリューションを」をテーマに平成27年12月9日(水)に名古屋国際会議場 イベントホール(名古屋市熱田区)においてメカニカルパーツ&システム総合展を開催いたしました。



2

12月2日

2015 国際ロボット展

「ロボット使ってみませんか?～最適なロボットシステムとサービスを提供します～」をテーマに平成27年12月2日(水)～5日(土)に東京ビッグサイト 東館3ホール(東京都江東区)において開催されました「2015 国際ロボット展」に出展いたしました。



POINT 『NEXT FIELD 2017』

「商売の芽」となる情報獲得機会の増大

平成28年度展示会の出展

国際食品工業展 6月 7日(火)～10日(金)

機械要素技術展 6月22日(水)～24日(金)

関西機械要素技術展 10月 5日(水)～ 7日(金)

METALEX VIETNAM 2016 10月 6日(木)～ 8日(土)



4 2月5日
平成28年3月期第3四半期決算発表

5 2月18日
平成28年3月期第3四半期決算説明会
スモールミーティング
場所: JAビルカンファレンス 302号室

6 4月9日
社会貢献活動～にちでんの森活動～

第10回「にちでんの森 ～ACCESS to ECO」(フォレストマッチング～協働の森づくり推進事業～)を今年度も引き続き創業者(西木 利吉)の故郷の近くでもある香川県木田郡三木町の森林において植林による森づくり活動を平成28年4月9日(土)に本年度新入社員を含む70余名の参加により実施いたしました。



7 4月19日
第1回 名古屋 機械要素技術展 M-Tech

「モノづくりに関わる人に“よかった”を届けたい」をテーマに平成28年4月19日(火)～21日(木)にポートメッセなごや 第1展示館(名古屋市港区)において開催されました「第1回 名古屋 機械要素技術展 M-Tech」に出展いたしました。



8 5月9日
平成28年3月期決算発表

9 5月24日
平成28年3月期決算説明会

平成28年5月24日(火)に決算説明会を大手町ファーストスクエアカンファレンスRoom D(東京都千代田区)で開催いたしました。当社代表取締役社長 福家 利一より平成28年3月期連結決算概要と中期経営計画『NEXT FIELD 2017』の進捗状況についてご説明いたしました。



10 6月24日
第65期定時株主総会開催

CORPORATE INFORMATION / STOCK INFORMATION

会社情報 / 株式情報

会社の概要

(平成28年3月31日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	昭和27年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	761名(連結834名)
関係会社	岡崎機械株式会社 日伝国際貿易(上海)有限公司 NICHIDEN TRADING(Thailand)Co.,Ltd. NICHIDEN(Thailand)Co.,Ltd. NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD 株式会社プロキュバィネット

役員

(平成28年6月24日現在)

代表取締役会長	西木 利彦	
代表取締役社長	福家 利一	営業本部長
常務取締役	酒井 義之	中部ブロック長
常務取締役	榊原 恭平	MEシステム統括部長
常務取締役	岡本 賢一	東部ブロック長
取締役	寒川 睦志	西部ブロック長
取締役	檜垣 泰雄	管理本部長兼総務部長
取締役	小山 章松	
取締役	寺嶋 康子	
常勤監査役	河村 竹佳	
常勤監査役	石谷 勇児	
監査役	古田 清和	
監査役	川上 勝	

(注) 取締役のうち、小山章松、寺嶋康子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役のうち、古田清和、川上勝の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
なお、当社は小山章松、寺嶋康子、古田清和、川上勝の各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

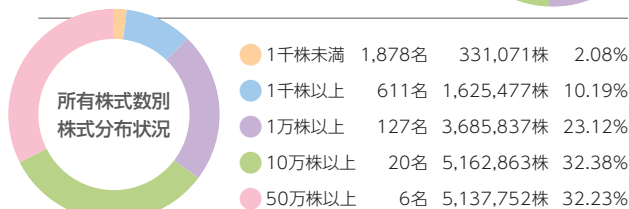
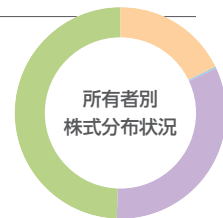
(平成28年3月31日現在)

発行可能株式の総数	63,000,000株	
発行済株式の総数	15,701,929株 (自己株式241,071株を除く。)	
株主数	2,642名	
大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
日伝共栄会	1,705	10.85
日伝仕入先持株会	927	5.90
西木 進	731	4.65
株式会社利双企画	700	4.45
株式会社みずほ銀行	550	3.50
有限会社ニシキ興産	523	3.33
日伝従業員持株会	495	3.15
株式会社百十四銀行	491	3.12
西木 利彦	418	2.66
株式会社りそな銀行	335	2.13

(注) 持株比率は自己株式(241,071株)を除いて計算しております。

株式分布状況

金融機関	29名	2,840,300株	17.81%
証券会社	20名	52,073株	0.33%
法人	337名	5,208,787株	32.67%
個人その他	2,256名	7,841,840株	49.19%



株 式 情 報

配当方針

当社の配当方針は、平成28年5月9日の取締役会で「連結配当性向25%以上、1株あたりの配当金25円を下限とする。」と定めております。

配当金のご案内

当事業年度の期末配当金につきましては、普通配当1株につき60円に、東証1部上場10周年記念配当5円を加え、1株につき65円(年間)にて実施いたしました。

翌事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当65円を予定しております。

株主優待制度のお知らせ

日頃のご愛顧にお応えするため、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のご住所へ次のおりご優待品を12月中にお届けさせていただきます。



1,000株以上所有(一律)

こだわり厳選セット
無洗米2kg詰め3パック
幸南食糧株式会社
<http://www.kohnan.co.jp/>

**100株以上
1,000株未満所有(一律)**

讃州育ち本切りセット
さめきうどん300g×3袋(9人前)
株式会社めりけんや
<http://www.merikenya.com/>



株価および株式売買高の推移



(注) 株価および株式売買の推移は、東京証券取引所におけるものです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日までの1年
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることができ ない場合は、日本経済新聞に掲載する方 法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日現在の株主名簿に記載ま たは記録された所有株式数100株以上 の株主様に対して当社指定粗品を贈呈 いたします。

郵送物送付先

お問い合わせ先

各種手続お取扱店
(住所変更、株主配当金
受取り方法の変更等)

未払配当金のお支払

ご注意

証券会社等に
口座をお持ちの場合

お取引の証券会社
等になります。

みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および
全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)

支払明細発行については、右の
「特別口座の場合」の郵便物送
付先・お問い合わせ先・各種手
続お取扱店をご利用ください。

証券会社等に
口座をお持ちでない場合
(特別口座の場合)

〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル
0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

みずほ証券
本店および全国各支店
プラネットプース(みずほ銀行内の店
舗)でもお取扱いたします。

みずほ信託銀行
本店および全国各支店
*トラストラウンジではお取扱できま
せんのでご了承ください。

特別口座では、単元未満株式の買取
以外の株式売買はできません。証券
会社等に口座を開設し、株式の振替手
続を行っていただく必要があります。

上場株式配当金の 支払いに関する 通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、「支払通知書」の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、確定申告の添付資料としてご使用ください。なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。



IRに関するお問い合わせ先

当社ホームページIR関連のお問い合わせフォームより承っております。資料請求、ご質問、ご意見、ご要望などがございましたら、気軽にお問い合わせください。

日伝 IR

検索

メカニカルパーツ&システム

MEKASYS

<http://www.mekasys.jp>

「MEKASYS」は、株式会社日伝の
登録商標第5354848号です。



この冊子は環境保全の
ため、植物油インキを
使用しています。